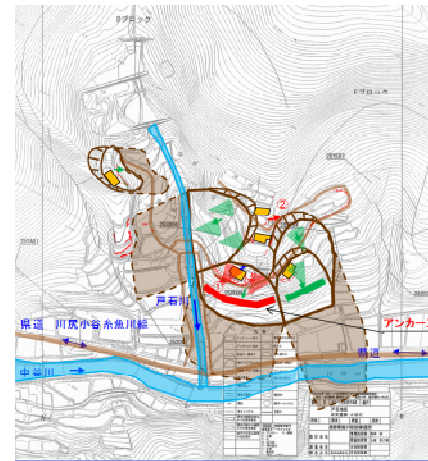


(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		地すべり対策事業		路河川名等	戸石区域
事業毎の通番		3	市町村名	小谷村	箇所名(ふりがな)
					戸石(といし)
事業目的	当地区は、新第三紀の風化した泥岩地域で地域内の中央を中土破砕帯が横切る地すべり危険箇所集中地域である。平成26年11月22日に長野県北部を震源として発生した地震に伴い村道が被災し集落が孤立した。区域内には地すべり性状が確認され、今後の降雨及び融雪により地すべりの滑動が活発化すると甚大な被害が想定されることから早急に対策を実施し、民生の安定を図りたい。				
しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(地すべり災害を防ぐ施設の整備)	事業実施の根拠法令等	地すべり等防止法		
関連する事業、計画等	なし				
保全対象・範囲 受益対象・範囲	一級河川中谷川、県道、村道、人家4戸				
着手年度	平成27年度	事業期間	2年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)
完成年度(見込み)	平成28年度	費用対効果	2.55	国庫	その他 県債 一般財源
全体事業内容(主な工種)	アンカー工(法面) N=30本 横ポーリング工 L=1,470m			100,000	50,000 45,000 5,000
年度事業内容(主な工種)	アンカー工(法面) N=18本 横ポーリング工 L=420m			60,000	30,000 27,000 3,000
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	人家、道路等の保全			
	間接的効果(定量的・定性的)	災害に強い地域づくり			
評価の視点	必要性	(例) 人家戸数: (例) 公共施設数: (例) 災害時要援護者関連施設の有無: (例) 河川への土砂流量:	保全対象人家4戸 県道川尻小谷糸魚川線、村道 無し 296,400m ³	評価	B
	重要性	(例) 過去の災害履歴: (例) 交通遮断による地域経済への影響: (例) 地域防災計画上の位置づけ:	平成26年11月22日 長野県北部の地震により地すべりが発生 県道川尻小谷糸魚川線、村道が被災 小谷村地域防災計画に記載がある。	評価	A
	効率性	(例) 費用便益比(B/C): (例) 事業期間: (例) 工法等の比較検討:	B/C=11.41 平成27~28年度(2年間) 経済比較を行い工法を決定している	評価	A
	緊急性	(例) 地すべり滑動度: (例) 地すべり変状: (例) 下流の堰堤等の整備状況:	伸縮計の変動量が4mm/h未満 過去1年以内に新たな滑落崖が形成され人家に影響が出ている 地すべり発生箇所から下流保全対象までの間に堰堤がない	評価	A
	計画熟度	(例) 事業情報の共有: (例) 地域の取り組み: (例) 地域の合意形成: (例) 住民との協働:	関係者に対し事業説明会を実施し周知している 小谷村から事業計画に対し要望があり協力体制が出来ている 整備手法に対し地域の合意形成が図られている 住民主導型避難体制づくりに取り組んでいる	評価	A
	部意見	平成26年11月22日に発生した地震により地すべり滑動が発生し不安定な状態である。今後の融雪や降雨により被害が拡大する恐れがあることから、早急に対策工事を実施する必要がある。	行政改革課意見	重要性が高く、緊急性も認められる。	評価結果
				○	A

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



【整備の必要性がわかる状況写真等】



①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	戸石地区は過去から幾度も地すべり滑動が発生している地域であり、地すべり防止区域に指定されている。平成26年11月22日に長野県北部を震源として発生した地震に伴い地すべりが発生し家屋4戸にクラックが生じた。今後の降雨及び融雪により地すべりの滑動が活発化する恐れがある。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	地震災害発生直後から地域より要望がある。
③事業説明等の経緯	伸縮計による警戒体制及び今後の事業について関係者へ説明済み。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	無し
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	横ポーリング孔口等、地表に露出するものはふとん竈など自然の資材を用いたもので施工し、環境や景観に馴染むよう配慮する。
⑥地域活性化への影響と配慮	保全対象となっている県道及び村道は、小谷村の人や物流の基幹となるものであり、地域活性化に欠かせない。
⑦その他	
事業代表地点の緯度経度	北緯:N 137.950444 東経:E 36.830392